

Journal of Dermatological Science (in press)

Serum granulysin as a possible key marker of the activity of alopecia areata.

Ono S, Otsuka A, Yamamoto Y, Kataoka T, Koyanagi I, Miyachi Y, Kabashima K.

円形脱毛症は主に皮膚を対象とした自己免疫疾患であるが、その活動性を示す良いマーカーは存在していなかった。今回、活動性の円形脱毛症患者ならびに健常人を対象とした研究で、血清 granulysin 値が円形脱毛症の罹患面積と関連していることが示唆された。